

「日経 225 マイクロ先物・ミニオプションの上場等について」に寄せられたパブリック・コメントの結果について

2022 年 8 月 26 日

株式会社大阪取引所

株式会社大阪取引所（以下「当社」といいます。）では、日経 225 マイクロ先物・ミニオプションの上場等について、その要綱を 2022 年 6 月 17 日に公表し、7 月 17 日までの間、広く意見の募集を行いました。ご意見をご提出いただいた皆様におかれましては、本件についての検討にご協力いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

本件に関してお寄せいただいたコメントの概要及びそれに対する当社の考え方は以下をご覧ください。

なお、本件の開始時期については、制度要綱上「2023 年度第 1 四半期（予定）」としておりましたが、この度、2023 年 5 月 29 日に開始予定としましたので、併せてお知らせいたします。

番号	コメントの内容	コメントに対する考え方
1	<ul style="list-style-type: none">日経 225mini も取引するが単位が大きいので、やむを得ず 1/10 で取引出来る CFD を取引しているので、今回の件はとても良い事だと感じる。投資初心者が安心して参加できるよう、デモ取引も用意するなど、これから始める投資初心者の為、取り組みやすい環境を作っていただきたい。	<ul style="list-style-type: none">今般の日経 225 マイクロ先物・ミニオプションの導入にあたっては、新たな投資家の参入や既存投資家の取引拡大が想定・期待されることから、既存商品含め、デリバティブ市場の健全なすそ野拡大・発展に向けた取組みを証券会社と共同でより一層強化したいと考えております。また、市場参加者のニーズに応じた商品の追加・取引制度の見直し等を適時に行うことで、引き続きデリバティブ市場の利便性向上に努めてまいります。なお、現在当社は、新たにデリバティブ取引を開始する個人投資家等に対し、デリバティブ取引の適切な利用方法を伝えることを目的として、当社公式サイト「北浜投資塾」を運営しておりますが、同サイト内で「OSE 先物・オプションシミュレーター」を提供しております。
2	<ul style="list-style-type: none">オプションのミニ化はとてもうれしく、より細かいポジション調整ができトレードしやすくなる一方、ミニ化により投資家にはいろいろなストラテジーアイデアが生まれることから、それをアシストするための「損益シミュレーター」を証券会社に要望していただきたい。また、誰でも使えるということが必要だと思うので、まず取	

番号	コメントの内容	コメントに対する考え方
	引所が「誰でも使える損益シミュレーター」の特設サイトを設置するのがよいと思う。	【北浜投資塾】 https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/
3	<ul style="list-style-type: none"> 取引単位を下げ個人が取引しやすいようにするのは良い事だが、株オプやウィークリーを含めて取り扱っている証券会社が少ないことも問題なので、株オプを含めて今回の改革を機会に取引所と証券会社が協力して普及に努める事が一番重要だと考える。 	【OSE先物・オプションシミュレーター】 https://www.fopstudy.com/main
4	<ul style="list-style-type: none"> 日経225マイクロ先物・ミニオプションの導入により、個人投資家はもとより、機関投資家の細かいニーズにも対応できるため、特段異論はない。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 税制の対応が非常に遅れており、金融商品一体課税など損益通算を可能にしないとデリバティブ商品のヘッジ機能は不完全である。今回の改正は多くのデリバティブ参加者を生むと思うので、ぜひその大きな投資家層の声を集めて税制改革を推し進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> デリバティブ取引への損益通算範囲の拡大につきましては、多様な金融商品に投資しやすい環境の整備の観点から、平成25年度から継続して主要項目として税制改正要望を行っており、昨年度の与党税制改正大綱では、「デリバティブ取引に係る金融所得課税の更なる一体化については、金融所得課税のあり方を総合的に検討していく中で、意図的な租税回避行為を防止するための方策等に関するこれまでの検討の成果を踏まえ、早期に検討する。」とされました。今後も関係各方面と連携して、税制改正の実現に向けて取り組んでまいります。 <p>【令和4年度税制改正に関する証券関係三団体談話について】 https://www.jpx.co.jp/corporate/news/news-releases/0010/20201213-01.html</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> 先物はラージをなくして、ミニとマイクロで良いのではない 	<ul style="list-style-type: none"> 現状、市場参加者は執行コストや効率等を勘案のうえ、目的に

番号	コメントの内容	コメントに対する考え方
	<p>か。また、オプションに関しては今のオプション価格一枚が高いので、流動性からも今のものをマイクロにすれば良いと思う。</p>	<p>応じてサイズの異なる取引を適宜選択して利用されているものと認識しています。ご意見のとおり、取引サイズの種類を限定することは、流動性を集中させるメリットが期待される一方、執行コストや効率等の観点から使い勝手を悪くするというデメリットも考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回、先物とオプション（通常限月）については、大口取引が中心の機関投資家の取引が多い現状を踏まえ、複数の取引サイズを並存させることが流動性と使い勝手の両面で最適と考えました。一方、オプション（週次設定限月）については、個人投資家の取引が比較的多い現状を踏まえ、複数の取引サイズを並存させることによる流動性低下のデメリットが使い勝手のメリットを上回る懸念があると考え、また、取引参加者の対応負担も勘案し、既存のオプション（週次設定限月）をミニ化することといたしました。
7	<ul style="list-style-type: none"> 今回ミニオプションが上場されるのは大変喜ばしいが、日経平均オプションの125円刻みの権利行使価格に十分な流動性がないので、日経平均1万5000円未満は125円刻み、1万5000円以上は250円刻み、5万円以上は500円刻み、10万円以上は1000円刻み、で良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日経225オプション（通常限月及び週次設定限月）の125円刻みの権利行使価格については、現に取引の実績があることから、市場参加者に一定のニーズがあるものと考えます。 そのため、円滑な取引及びそれを通じた適切な価格形成の観点から、今後上場を予定する日経225ミニオプションも含めて、十分な流動性を確保するためマーケットメイカー制度等の制度整備を今後も行ってまいります。
8	<ul style="list-style-type: none"> ミニオプションを行うのであれば、権利行使価格を125円刻みではなく250円もしくは500円刻みにすれば多少流動性が高くなると思う。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> 1. 日経225マイクロ先物は標準的な先物と見受けられることから、通常ビジネスと同様にサポートされるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 日経225マイクロ先物・ミニオプションの取引証拠金に係るSPANコードの詳細については、株式会社日本証券クリアリング

番号	コメントの内容	コメントに対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2. 既存の日経 225Weekly オプションの各週次設定限月が“NK225W1”から“NK225W5”といったコードで識別されるように、日経 225 ミニオプションにおける各週次設定限月についてもコードを個別に設定してほしい。 ・ 3. 日経 225 マイクロ先物・ミニオプションには最初の 7 桁が一意となるコードが設定されるか。 	<p>機構から本年 7 月 29 日に公表されておりますので、そちらをご参照ください。</p> <p>【大阪取引所における 2023 年度第 1 四半期案件に伴う SPAN コードの設定について】</p> <p>https://www.jpx.co.jp/jscc/information/news/20220729-2.html</p>

提出者：1～3＝個人、4＝野村アセットマネジメント株式会社、5～8＝個人、9＝FIS

以 上